

発行責任者
小林孝栄(昭29電)



都島だより
KANTO NANIWA KOGYOKAI
NEWS
6 関東浪速工業会
会報

投稿送り先
竹村繁幸(昭36電)
流山市東深井84-102
〒270-01 TEL.0471-55-2293

関東浪速工業会の近況から

(昭29 電卒) 小林 孝栄

近年の各企業の東京本社化の関係からか、関東浪速工業会の会員数も五百三十五名と多数を数える様になっている。

この内毎年、年末に実施している「総会、懇親会」への出席している会員数は約六十名前後と約10%である。この数を多くと判断するか、少ないと判断するかはむづかしい事であるが、ここで私はあえて多数の出席を呼びかけた。

私はここ3年前から年4回前後行なっている幹事会に出席する機会を得、そこで感じた事は各科の少数の先輩が「関東浪速工業会」を盛り上げるべく、各人本来の仕事のあい間をぬってボランティア精神で努力をされている事を会員の皆様にお知らせしたい。

関東浪速工業会の年間の事業計画としては春の有志によるゴルフの会、夏には納涼船の会、又時期に合わせての温泉旅行、見学会、これらは総会とは別に実施している。又昨年は手拭展とユニークな会を催し活発な活動を進めている。

これらの会を実施するには前後数回の幹事会を開催し準備するのであるが、各科の幹事の努力が大変である。

ここに会員の皆様にお知らせし、お願いしたいのですが、この幹事会を盛りあげ引張っている先輩は戦前と云う言葉は適切でないかも知れませんが戦前戦中に卒業された方が中心です。今後催会には各人積極的に出席願ひ、会を盛り上げると共に伝統ある関東浪速工業会を今後につなげて行きたいと思ひます。

私も昭和29年に卒業して早や38年を過ぎようとしています。まだまだ若いつもりですが、私より先輩の方が幹事会で熱心に議論されているのを見るにつけ先輩の方が若いなあと感じます。この事は先輩の方が会

の事を思う心がより強いのでは!! 又横のコミュニケーションが強いのでは。これは私の個人的な感じですが私も含め、先頭に立って積極的に進める事が出来ないのは仕事中心で会の事を思う心はあるが時間的に余裕が取れない事が一つ、後輩の東京への転勤者が近年少ない事が原因なのだろうか。出来る限り積極的に「会合」「催会」に参加し、関東浪速工業会を盛り上げようではありませんか。

終りに本年の事業予定を幹事会で決めましたのでお知らせします。すでに温泉旅行、HNK放送局見学と実施し、8月には納涼船、秋にはゴルフを予定したいと思っています。年末11月20日には総会を予定しております。会員の皆様の積極的な参加を期待致します。

以上

ジャカルタ雑感

(昭41 機卒) 川本 正治

昨年十一月、インドネシア(今回はジャカルタと云った方が正確ですが)へ、二十年振りに行く機会を得た。

ジャカルタに到着した時、前回の事が昨日の様に思い浮かんで来たので二十年の歳月の変化を感想として述べたい。(私よりインドネシアの事を詳しく御存知の先輩諸氏がいらっしゃるかも知れませんが、あくまでも私が短期間に感じた事、又、一

面的にしか見れなかったこととして誤りはお許しいただきたいと思ひます。)

二十年前といえば、私が都工を卒業して、まだ五年目で、技術的には全く未熟であり、しかも、言葉もほとんど話せない状態で行くこととなった。不安で都工三年間に鍛えられた体力でもって、三ヶ月滞在し、貴重な経験を待た。

当時のインドネシアは商工業は未発達であり、ジャカルタの町並も雑然とし、夜は暗く、多くの定住、定職を持たない人々が町に溢れていた。又、いつ壊れてもおかしくない車が走り、経済的には乏しかったように見えた。しかし、一方、多くの人々は明るく、素朴で、人なつこく、しかも、活気があり、ひたむきに生活していた様に思えた。

二十年振りのジャカルタは、大きなビル群が建ち並び、町並が整理(ビルの裏側に回れば赤い色の屋根の南国特有の古い道並は存在しているが)され、道路には新しい自国産の車が所狭しと走り回り、大きな変貌を上げ、確実に経済成長が進んでいた。又、東京と同様、夜の繁華街にはネオンがきらめき、いたるところに、カラオケ・バーができていた。

一方、人々の生活は、商工業の発展で定職を得ている人が増え、豊かになっていった。しかも、二十年前に感じた、人々の素朴さ、明るさは、私の出会った人達には残されており、安心した。いつまでもこの良さを保ちつつインドネシアが発展していくことを望みたい。

今度は二十年後、妻とともにこの地を訪問し、本文に書きえなかつた数多くの、インドネシ

アの良さを話してあげたい。サンバイ・ジュンパ・ラギインドネシア(いつの日か、インドネシアで)。

恩師「土屋先生」を偲んで

(昭36 電卒) 馬江 治喜

都工を卒業して30年余が過ぎました。今迄何回か関東浪速工業会の会合に出席している内に同クラスの石垣君、竹村君と久しぶりに昨年の暮に新宿で忘年会を行いました。お互いにいろいろな話を楽しくしました。その会話の中で竹村君より一度恩師「土屋先生」を東京に御招待して我々の学生時代の事、又先生の近況を聞こうと話がまとまりました。それで各分担任を決め、石垣君に宿泊場所を探してもらい、竹村君には企画を、小生は雑用と仕事を決め土屋先生に連絡すると来ていただけの事、それで3月21日、22日に行う事になりました。宿泊は鎌倉に決まり先生には、ひかりのグリーン車の2階席に乗っていただきました。3月21日夕方新横浜駅へお向かえに行きました。先生は今年7月で満70才になられるとの事ですが、顔色も良く体も別に悪い所がなく全くお元気な姿を拝し本當にうれしく思いました。その夜は酒を飲みながら座車を4人で囲んで各自現状を報告して学生時代の事、級友の事等を楽しく夜遅くまで話をしました。本當に楽しい一刻でありました。この様な会合が出来た事を深く感謝いたします。翌日は天気も良くなりタクシーを貸し切って鎌倉市内の名所旧跡をまわりました。我々も東京に居ながら鎌倉の知らない所が多い事にびっくりしました。昼

あらゆるフィールドで活躍する
シリカ製品の総合メーカー

(アメリカW.R.G.社との合弁会社)



除湿についての
御相談に応じます。

富士デヴィソン化学株式会社

東京都中央区日本橋2-2-2 共同ビル 4階 〒103

☎(03) 3275-1621(代) FAX (03) 3275-1624 柴田孝次(♠34年卒)

関東浪速工業会の発展

建設ボーリング株式会社

代表取締役

M16 稲生正勝

(株) 精研 東京支店

03-5689-2351(代)

空調・給排水設備工事

地盤凍結工事

E13 富田 輝男 M43 石川 芳夫

E16 戸部 暢 E43 田中 己晴

E28 橋本 健治 E46 高倉 修

食は鎌倉の懐石料理を味わい、そろそろ帰りの時間になったので新横浜駅へ見送りに行きまし。今回は大変お世話になった土屋先生に御恩返しのためおごりの様な事をしましたが、先生も我々お教子の元気な姿を見られ少しは安心された事と思います。我々も土屋先生のますますの御健康をお祈りして機会があれば又この様な会合を行いたく思います。

関西弁

(昭20 機卒) 三枝 寿一

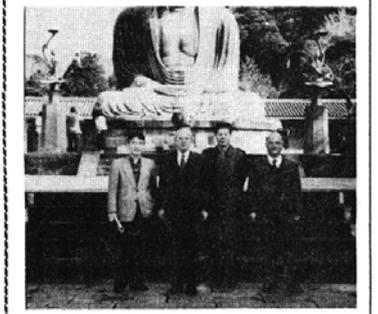
最近声をかけたり、かけられたりの機会があり、どうも関西弁による親しみからきたもので前者はこの所、通院中の虎ノ門病院待合室でのことで、此処は、肝臓病治療中の者ばかり。共通の話題には事欠かない訳だが、相手の方は、女性(50才前後)でどうも公務員らしい。話を聞いてみると近江出身との事で、転勤で各地を廻ったが、終始関西弁で通し、現在では役所の中で難しい議論になった時、雰囲気がかかくなり随分助かっているとの事であった。

関西弁、現在総称になっていますが

- 一、関西弁(京都・神戸・兵庫・奈良・和歌山)
- 二、大阪弁(大阪市内・大阪市内外(河内弁))

漫才等の話し言葉は、かなり河内弁が、混じっている。

- ①コトク (東京風) 買った
- ②ウトク 歌った
- ③ミエヘン 見ない
- ④カケン 書けない
- ⑤オーキニ ありがとう
- ⑥ナンボ いくら



今でこそ堂々と関西弁が使われているが、私が九州から東京に転勤(昭和35年)した時には、職種が営業であった為か、大手メーカーの担当者との話は、関西弁を使わぬ様に随分気付かっ。そのお蔭で現在は、中途半端なチャンポン標準弁になっているが、やはり基調は関西弁ナマリで、すぐ相手に解る次第。

然し何故関西弁が其の当時毛嫌いだされたかは、大阪商人と云うイメージが強かった為で、後に先輩からも聞きました。同様の経験があるとの事で、現在ではテレビ等の影響もあり特に女性が使った場合、柔らかさと、愛嬌があり好印象で受け入れられています。

- ⑦アンジョ(一) ちゃん
- ⑧イチビル 調子にのって
- ⑨サラ 新しいもの
- ⑩エーシ 金持ち
- ⑪シブチン けち
- ⑫チリメンジャコ しらす
- ⑬ビビル こわがる
- ⑭イキマツカ 行きますか
- ⑮コンバイ くすぐったい
- ⑯シンドイ 苦しい、疲れた
- ⑰エゲツナイ ひどい、いやなもの
- ⑱エライ (仕事などが) つらい、きびしい
- ⑲ホカス 捨てる
- ⑳タク 煮る

ているケースが多い様だ。誠に隔世の感があり感無量でありますが、然しアクセントの違う関西弁は今だに不快感が残る事が多い。現在関東浪速工業会の会合で皆さんの発音を聞く時、私同様チャンポン標準語の方が多い様に思う。一度何かの会合で多岐に関西弁で通す企画があれば面白いと思う。

関東青薔会(建築科だより)

関東浪速工業会総会時返信はがき等でお知らせいただいた会員諸兄の近況を掲載させていただきます。(敬称略)

- 星野半造・5年・逝去(山本良一・5年・逝去)
- 西村勢次郎・14年・帰阪
- 廣瀬一男・14年・年とともに小さな故障が次々と出て来ますが、今のところ息災に過ごしております。
- 鶴海吉正・16年・毎日日中は趣味の工作、夜は読書・レコード鑑賞
- 皆田一彦・16年・2回心臓の手術をしました。今は思うように字が書けません。
- Mニュース楽しみにしています。
- 福田邦雄・17年・病弱ですが無事しております。
- 山中豊吉・18年・週に一回日本橋の会社へ顧問として出る以外、週一回のゴルフライフを楽しんでいます。
- 河島巖・18年・帰阪
- 岸直行・18年・紺色材協会会長として活躍中です。
- 横武・24年・心身共に元気で過ごして居ります。
- 清井英治・27年・東北の雄になろうと頑張っております。
- 岡田宏三・28年・交通事故の後遺症がまだ完全には癒えませんが、森川浩式郎・35年・ニューヨーク転勤
- 若井浩一・38年・台北赴任中
- 江良安雄・41年・帰阪

各科別報告会

(昭47 電卒) 松本 進

平成二・三年度と二年続けて総会、懇親会に出席させて頂きまして。平成三年度も、第一線で御活躍の約六十名の方々が一御出席され、盛況に行われました。平成二年度会長ご挨拶で始まった後、懇親会のプログラム「各科別報告会」と続きました。同会では、各科単位に集まり、各科の幹事より近況報告(主に欠席者の近況についての報告)があり、記念写真も撮って頂きましたが、時間が短く、あっという間に終わってしまいました。

平成3年度の事業計画

本年度もみなさんの協力を得ながら、下記のスケジュールを計画しています。

- 1月 幹事会
- 4月 幹事会
- 5月 NHK見学会、Mニュース発行
- 7月 幹事会
- 8月 偶田川納涼船
- 10月 幹事会
- 11月 平成4年度総会、Mニュース発行

納涼船のお知らせ

昨年、御好評を頂きました納涼船を今夏も計画してみました。屋形舟のビールとおさしみで、偶田川の夏を涼みましょう。

日時 8月22日(土) 18時頃出港
場所 偶田川、柳橋畔 舟宿「小松屋」
コース 偶田川～お台場
定員 25名

尚、詳しくは7月に御案内いたします。

私のような若輩者にとっては、まず同じ科の卒業という親近感から、先輩の方々とコミュニケーションをさせて頂ける第一歩になるのではないかと思います。したがって、もう少し時間をとって頂いて、御出席されている方々全員の簡単な自己紹介や近況報告等の場をつくって頂けたら、今よりもっとコミュニケーションが良くなると思います。また、先輩方の公私に渡る貴重な御経験等をお伺いする事ができ、更に有意義な総会・懇親会になるのではないかと思います。

あとがき

(昭36 電卒) 竹村 繁幸
本年度の幹事は電気科(正)、土木科(副)です。今まで諸先輩が各方面で、開拓し、道つくりしていただいたのを絶やさず、益々、関東浪速工業会が発展するようこの紙面を通じてコミュニケーションの場として利用していただければ幸いです。

浪速工業会報

- ◇竣工 平成4年4月18日
- ◇同窓会記念ホールは「明都館」と命名(命名者は山田 溪校長)
- ◇クラブ室、外溝工事の第3期施設整備を残すのみ。
- ◇理工工学科が本年度より新設された。



同窓会記念ホール竣工

デザインは生活原点を見つめる目から生まれるものと考えます。常に原点に立ち戻り、新しい世界を追求する「Oからの創造」を目指すデザイン集団です。

O_α

●CI, 商品企画, パッケージ・ディスプレイ・サイン等のデザイン●
TEL 03-3403-2613
FAX 3405-0178
(株)オーデイ 代表取締役社長 岡田宏三